

# 福井県普通会計バランスシート

(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

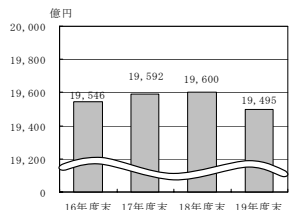
借	方	貸	方
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	70,255	(1) 地方債	762,621
(2) 民生費	25,134		
(3) 衛生費	10,485	(2) 債務負担行為	
(4) 労働費	2,954	① 物件の購入等	0
(5) 農林水産業費	378,173	② 債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費	38,330	債務負担行為計	0
(7) 土木費	1,203,268	(3) 退職給与引当金	142,711
(8) 警察費	28,289		
(9) 教育費	192,417	固定負債合計	905,332
(10) その他	158		
計	1,949,463	(1) 翌年度償還予定額	55,863
(うち土地)	392,569	(2) 翌年度繰上充用金	0
有形固定資産合計	1,949,463	流動負債合計	55,863
		負債合計	961,195
2. 投資等		2. 流動負債	
(1) 投資及び出資金	58,198		
(2) 貸付金	69,387		
(3) 基金			
① 特定目的基金	28,755		
② 土地開発基金	6,748		
③ 定額運用基金	11,033		
基金計	46,536		
投資等合計	174,121		
3. 流動資産		[正味資産の部]	
(1) 現金・預金		1. 国庫支出金	
① 財政調整基金	14,659	581,073	
② 県債管理基金	7,567	(772,929)	
③ 歳計現金	7,496	2. 一般財源等	
現金・預金計	29,722	622,670	
(2) 未収金			
① 地方税	8,322		
② その他	3,310		
未収金計	11,632		
流動資産合計	41,354	正味資産合計	1,203,743
資産合計	2,164,938	負債・正味資産合計	2,164,938

※債務負担行為に係る補償等	①物件の購入等に係るもの	3,330	百万円
	②債務保証及び損失補償に係るもの	159,840	百万円
	③利子補給等に係るもの	643	百万円
※翌年度償還予定額を含めた地方債残高818,484百万円のうち財源措置のあるもの (地方債残高とは、固定負債の地方債と流動負債の翌年度償還予定額との合計額)		537,152	百万円

※貸方の上段(書き)は、平成13年度以降に交付税の不足分として発行された臨時財政対策債を負債から正味資産に振り替えた場合の数値。

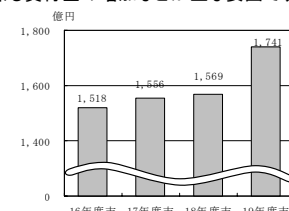
## 【有形固定資産】

有形固定資産とは、道路、河川、港湾、学校、庁舎など行政サービスを提供するための有形の資産です。取得額から耐用年数に応じて定額法により減価償却した金額を計上しています。減価償却費の増加等により、有形固定資産は減少しています。



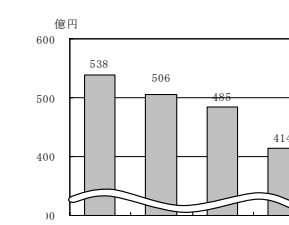
## 【投資等】

投資等には、公益法人や企業会計などへの出資・投資金、産業振興のための貸付金、公共施設の整備や地域振興など特定の目的のために積み立てられている基金(特定目的基金)などの残高を計上しています。平成19年度の増加は、地域産業活性化ファンドに係る貸付金の増加などが主な要因です。



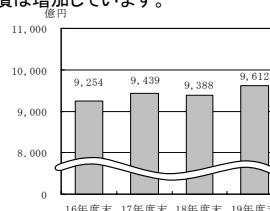
## 【流動資産】

流動資産には、年度間の財源調整のために使われる財政調整基金や県債の償還に使われる県債管理基金の残高、形式収支(その年度の歳入と歳出の差額)に相当する歳計現金、県税の未収金などを計上しています。平成19年度は、県債管理基金の減少により流動資産が減少しています。



## 【負債】

負債とは、資産形成のために発生した債務のうち、将来返済しなければならないもので、県債(地方債)残高と退職給与引当金を計上しています。退職給与引当金は、年度末に県の全職員が退職したと仮定した場合の退職手当の支払い見込額です。県債残高は、翌年度に償還が予定されている額を流動負債に計上し、それ以外を固定負債に計上しています。平成19年度は、平成13年度から地方交付税の不足分として発行している臨時財政対策債の影響により起債残高が増加したことや、計算方法の変更により退職給与引当金が増加したことにより、負債は増加しています。



## 【正味資産】

正味資産とは、これまでの世代によって形成された資産で、将来返済の必要がないものです。バランスシートには、国庫支出金(国から県に交付された補助金など)と県税など県固有の財源である一般財源とに区分して計上しています。資産の伸びに比べ、負債が増加していることにより、平成19年度は、減少しています。

